

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

様式1

No. 1301001

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	1	農業の振興	事業優先度	B		
単位施策	1	土地基盤の充実	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	水土里情報システム利活用事業		見直し年度			
事業期間	平成24年度		担当課	13	農業委員会	
事業主体	雄武町		関係課	9	産業振興課	
事業指標	農地の有効利用の促進				#N/A	
事業目標	農地情報の共有化		ハード/ソフト事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	2		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容
計 画 内 容	◎水土里情報システムの利用					◎水土里情報システムの利用
	事業費(千円)	100	0	0	0	100
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	100				100
実 績 事 業 費	事業費(千円)	100	0	0	0	100
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	100				100
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
						水土里情報システムの年間 利用料
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値				
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体達成率	0%	0%	0%	0%	
	事業進捗状況					☆☆☆☆

事業名	水土里情報システム利活用事業	評価者 管理職 職氏名	農業委員会事務局長	石井弘道
		評価者 作成者 職氏名	農業委員会農地係長	齋藤康志

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町農業者を対象	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	農地情報の共有化		
【抱える課題やニーズは】	農業は、町の基幹産業であり、農業の発展・促進を促す上からも必要不可欠である。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	農地の地図並びに農地情報を友好的に活用する。		① 水土里情報システムの利用	目標年度	平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	農地の有効利用の促進、農業の持続的な発展、農村の振興を図る。			目標値	1式
			実績値	1式	
			達成度	100.0%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	#DIV/0!%	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	水土里情報システムの利用料の支出				

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	適切な農地管理等に必要な事業である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	システムの利用により、農地管理が向上した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	農地管理が図られ、事業の効率化が図れた。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

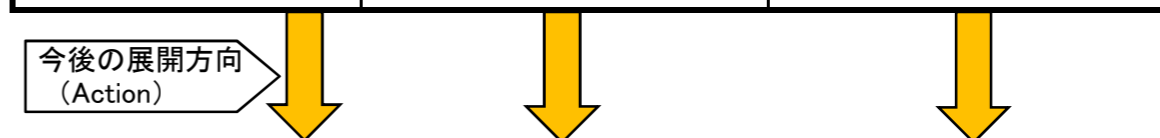
公平	判断の理由	システムの導入により、対象者の農地情報等の有効利用が図られ、公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
農地地図並びに農地情報等を有効活用することができ、計画どおり事業を達成した。		



今後の展開方向(Action)		
継続/現状維持		
今後も適切な農地管理等を図るため、本事業の継続は必要である。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止